

一般会計歳入歳出決算額の詳細

	令和元年度決算額	平成30年度決算額	増減率 (%)	解説
(1) 歳入総額	1,421億3,091万円	1,378億8,586万円	3.1	前年度に比べ個人市民税や法人市民税は減額となったものの、固定資産税や事業所税が増額となるなど、市税全体では約7.1億円の増額となりました。 そのほか、地方交付税が約7.1億円、国庫支出金が約26.1億円などの増額が影響し、歳入総額は約42.5億円の増額となりました。
(2) 歳出総額	1,391億2,457万円	1,346億8,385万円	3.3	認定こども園施設給付事業や児童扶養手当支給事業などにより、民生費が約18.3億円の増額となりました。また、中心市街地再生事業や上新田前箱田線などにより土木費が約12.1億円の増額となり、歳出総額は約44.4億円の増額となりました。
(3) 歳入歳出差引額	30億 634万円	32億 201万円	△6.1	「(1)歳入」から「(2)歳出」を差し引いた、形式収支と呼ばれるものです。
(4) 実質収支	20億9,380万円	25億2,892万円	△17.2	実質収支は、「(3)歳入歳出差引額」から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いたもので、このうち11億円を財政調整基金（貯金）に積み立て、残りの9億9,380万円を翌年度（令和2年度）への繰越金としました。
(5) 単年度収支	△4億3,512万円	3,996万円	△1,189	単年度収支は、当該年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた、当該年度だけの収支の状況を見るものです。
(6) 実質単年度収支	△19億3,776万円	△20億6,021万円	5.9	実質単年度収支は、「(5)単年度収支」に財政調整基金への積立金（決算余剰積立以外）と市債元金の繰上償還金を加算し、財政調整基金の取崩額を減じたもので、単年度収支に含まれている黒字要素及び赤字要素を調整した収支の額です。